

平成 23 年 7 月 20 日

ご投資家の皆様へ

T&D アセットマネジメント株式会社

「日興 T&D パシフィック・パートナー・ファンド(毎月決算型)」
2011 年 7 月 20 日(第 5 回)決算の分配金について

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社が運用しております「日興 T & D パシフィック・パートナー・ファンド(毎月決算型)」(以下、「当ファンド」といいます。)につきまして、足許の基準価額水準、市況動向等を勘案し、2011 年 7 月 20 日(第 5 回)決算の分配金を下記の通りご案内申し上げます。

当ファンドの分配金水準は、今後とも適宜見直しを行ってまいります。引き続き、お引き立てを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

第 5 期分配金

| ファンド名 | 分配金 (1万口当たり、税引前) |
|-------------------------------|---------------------|
| 日興T&Dパシフィック・パートナー・ファンド(毎月決算型) | 10 円 |

分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」の「分配方針」をお読みください。

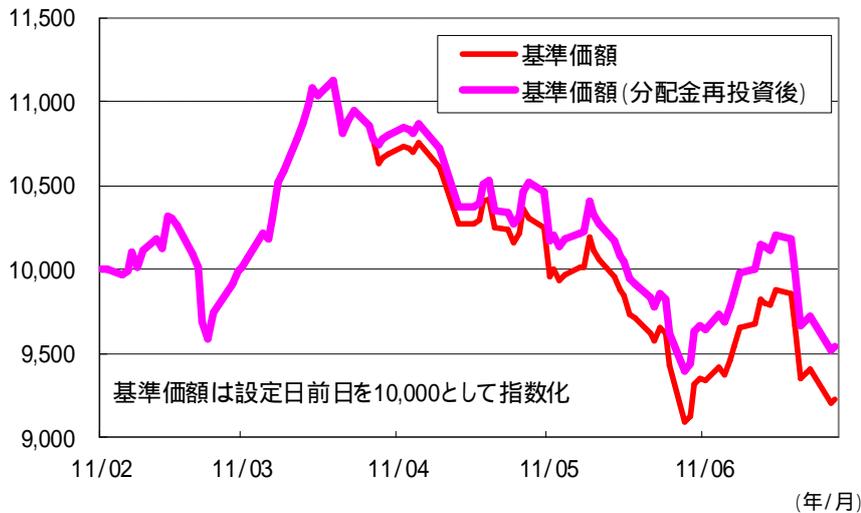
分配方針(毎月決算型)

毎月 20 日(該当日が休業日の場合は翌営業日とします。)に、原則として、以下の方針に基づき収益の分配を行います。

- (1) 分配対象額は、経費控除後の配当等収益(繰越分およびマザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額(以下「みなし配当等収益」といいます。))を含みます。)および売買益(評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額)等の全額とします。
- (2) 収益分配金額は、分配対象額の範囲内で委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
- (3) 収益分配に充てず、信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

基準価額の推移 (2011年2月24日(設定日前日)~2011年7月20日)

基準価額の推移は税引前分配金を全額再投資したものと計算しているため、実際の受益者利回りとは異なります。基準価額は信託報酬控除後です。


【直近5期の分配実績】

| | 決算日 | 分配金 |
|-----|-----------|------|
| 第1期 | 2011/3/22 | 0円 |
| 第2期 | 2011/4/20 | 110円 |
| 第3期 | 2011/5/20 | 110円 |
| 第4期 | 2011/6/20 | 110円 |
| 第5期 | 2011/7/20 | 10円 |
| 設定来 | | 340円 |

1万口当たり、税引前

2011/7/20

| | |
|-------|--------|
| 基準価額 | 9,225円 |
| 純資産総額 | 171百万円 |

最近の市場動向

6月のアジア株式市場は、ギリシャなどの欧州債務危機や中国景気の減速懸念などを背景に、概ね軟調な展開となりました。6月の基準価額は、こうしたことや世界景気の減速懸念などの不透明感から、物流や輸送などハイ・ベータ株を中心に軟調な展開となり、毎月決算型が 3.6%の下落となりました。

中国のマクロ指標が中国経済の緩やかな減速を示唆しておりますが、そうしたことを受けコモディティ市場に関しましては、商品需要の低下を見込んでおります。一方では、このことは中国当局の金融引締策が効果を示していることにもなりますので、これまで懸念され続けたインフレ懸念が後退してきていると考えております。その為、インフレが金融当局のコントロール下に置かれ、経済成長寄りの政策への転換サインが確認された際には、先進国から中国やその他のアジア市場に投資資金が再流入してくると見込んでいる為、その来るべき上昇相場に備え、慎重にポートフォリオの構築を行って参ります。短期的には、引続き株式市場のボラタイルな展開を予想しておりますが、数週間以内にこれまでの株価調整を受けた、相場の反発を想定しております。

今後の運用方針は、全体的な投資戦略は変更せず、株式市場の不透明感が完全に払拭されていない為、ディフェンシブなポジションは引続き継続しますが、年後半にはリスク選好を高め始める予定です。

6月末時点でのマザーファンドにおける組入銘柄数は27銘柄、株式組入比率は89.5%となっています。

出所:RCM アジア・パシフィック・リミテッド

本資料はお客様に T&D アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

当ファンドのお申込みに際してのご留意事項

当ファンドの投資リスクについて

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドに生じた利益および損失は、全て投資者に帰属し、投資元本が保証されているものではありません。また、収益や投資利回り等も未確定の商品です。投資にあたっては、以下に記載したリスク要因を十分にご理解のうえ、慎重にご判断くださいますようお願いいたします。

当ファンドの基準価額に影響を与える主な投資リスク

「株価変動リスク」「為替変動リスク」「カントリーリスク」

当ファンドのリスクは上記に限定されるものではありません。

ファンドの費用

お客様に直接的にご負担いただく費用

| | |
|-----------|--|
| 購入時手数料 | 手数料率は購入お申込み金額に応じて、以下の率を乗じて得た額とします。 1億円未満……………3.6750%(税抜 3.50%) 1億円以上 5億円未満……2.1000%(税抜 2.00%) 5億円以上 10億円未満……1.0500%(税抜 1.00%) 10億円以上……………0.7875%(税抜 0.75%) |
| スイッチング手数料 | ありません。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |

お客様に信託財産で間接的にご負担いただく費用

| | |
|------------------|---|
| 運用管理費用 (信託報酬) | 毎日、ファンドの純資産総額に年 1.89%(税抜 1.80%)の率を乗じて得た額とします。 [外部委託先報酬] マザーファンドの運用委託先であるRCM アジア・パシフィック・リミテッドが受ける報酬は、委託会社が受ける報酬から支払われるものとし、その報酬額は、マザーファンドの日々の純資産総額に、年 0.66%の率を乗じて得た額とします。 |
| その他の費用・ 手数料 | [監査費用] 毎日、ファンドの純資産総額に年 0.00735%(税抜 0.007%)の率を乗じて得た額とし、ファンドでご負担いただきます。 [その他] 証券取引に伴う手数料、組入資産の保管等に要する費用等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。 |

当該手数料等の合計額については、お客様が当ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

販売会社の名称等

| 販売会社 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 社団法人 日本証券 投資顧問業協会 | 社団法人 金融先物 取引業協会 | 一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会 |
|-------------------|--------------------------------------|---------|-------------------------|-----------------------|----------------------------|
| SMB C日興証券 株式会社 | 金融商品 取引業者 関東財務局長(金商) 第2251号 | | | | |

加入協会に 印を記載しています。